

古川哲史 ふるがわ たくし 倫理學者。明治四十五年五月八日鹿兒島縣生乳（一九二一）。昭和十年東京帝國大學文學部倫理學科卒。國際文化振興會職員、東洋大學教授を経て東大教授。

著書『葉隱』全三冊（和辻哲郎共校訂、昭和十五年四月十五日一十六年九月二十日岩波書店「岩波文庫」）、大道幸及山著『武道初心集』

（校訂、昭和十八年十一月二十五日岩波書店「岩波文庫」）、『甲陽軍鑑・一』（校訂、昭和二十五年一月二十五日岩波書店「岩波文庫」）、

『日本倫理思想史』（昭和二十七年十月五日弘文堂）、『新井白石』

（昭和二十八年四月二十日弘文堂）、『王朝憧憬の思想とその伝流』

（昭和二十九年十一月十五日福村書店）、『日記の現われたる日本人の

夢』（昭和二十四年二月十五日新潮社「日本文化研究」）、『典型的

日本人』（古田紹欽共編、昭和二十四年二月二十日誠信書房）、『悪

魔の研究』（合著・悪魔研究会編、昭和二十四年九月二十日六興出版

部）、『斎藤武吉』（昭和二十六年六月一日有信堂「文化新書」）、

『殉死―悲劇の遺蹟』（昭和四十二年七月十五日人物往来社）、『理

想的日本人』（昭和四十七年八月二十日毎日新聞社）等。



殉死

悲劇の遺蹟

著者 古川哲史

古川哲史

人物往来社

理想的日本人 ■ 古川哲史

毎日新聞社

理想的日本人 ■ 古川哲史 ■ 毎日新聞社